

コミュニティ・スクールだより

10月29日（金）に、第九小学校の第3回学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会の中での協議についての主な内容は、以下のとおりです。

※協議（進行：家富会長）

テーマ1「今年度の取り組みの振り返りから、今後の学校運営を考える」

今回は、テーマ1を2部会に分けて、熟議を2回行った。熟議1は「渡瀬地区防災訓練について」
熟議2は「その他の取り組みについて」についてであった。

【テーマ1（1）：渡瀬地区防災訓練について】

防災教育について（原校長）

渡瀬地区防災訓練と本校の学校公開を同日にしたことで、一昨年の課題であった地区防災訓練への児童とその親世代の参加が実現した。起震車体験、煙道体験、消火訓練、防災倉庫見学、避難所開設訓練（ダンボールベットづくり）、防災ワークショップなど様々な体験ができました。低学年の児童は学級で防災教育の授業を公開しました。合同で行った地区防災訓練や防災教育についてご意見をお願いします。

防災訓練の概要（酒井公民館館長）

○今年度は、2部構成で実施した。1部は、地域の方々が主体で実施。2部は、第九小学校保護者が中心の活動だった。

○渡瀬地区では、隔年で防災訓練を実施している。

○7項目、18団体、一般165名、第九小学校350名（保護者及び児童）の参加。

合計515名の参加であった。また、実施後のアンケートは、108名の方に提出していただいた。今後の訓練に活かせる貴重な意見だった。

部会A

○地域の防災について、保護者の関心も高く、保護者世代につながられる機会となった。

○今後、家族で防災について話し合う機会になるとよい。避難の仕方や非常時用品の件などについて確認する機会を増やすことだ。

○水害時だけでなく、地震時の対応も考えていくこと。今後の避難所のあり方等も含めて。

○非常時の連絡体制は家族単位だけでなく、地域の連絡方法も考えておくことよい。

○防災訓練は、マンネリ化を防ぐ意味でも改善点を考慮した活動を取り入れること、AEDの使い方、プッシュ講習会など多くの人が経験するとよい。

○災害時の避難ルートがあるとよい。家族単位で避難ルートを事前に確認しておくことが必要だ。

部会B

○防災訓練時、地域の活動と九小児童の活動が別々であった。一緒に活動できる場面を設定するとよかった。

また、活動後に、参加した方からの生の声を聞ければよかった。次年度の防災訓練活動に生かすことができると思う。

○防災訓練には、多くの消防団員の方が参加した。消防団員には九小児童の父親も含まれ、父親が活躍する姿を見られるよい機会となった。

○今回の訓練には、保護者の参加も多かった。保護者が地域方々や地域の取組を知るよい機会となった。

○今回の訓練では、九小児童を保護者の引き渡し訓練も実施した。引き渡し場面まで出なく、その後の下校方法も見取ることも必要になる。

○今回の訓練は、九小児童の今後の防災学習にも役立つ。「総合」や「のびゆく館林」の学習時に活用できる。継続的な学習になる。

○今回のような体験活動は、非常時のいざというときに備えられ、重要である。イベント的な活動と同時に、講座的な学べる学習も今後取り入れるとよい。

【テーマ1 (2)：その他の取り組みについて】

その他の取り組みについて (原校長) (◎は新規です。)

①授業支援・教育活動支援>

◎授業支援ボランティアとして→書写指導 (関口さん)

○高齢者福祉についての話と体験 (堀越さん・社会福祉協議会職員)

②地域学習支援>

◎4年総合ハザードマップ報告会を見守り隊の皆さんに向けて行った。

○米作り (生産活動) →地域の方の生産指導員

③学校環境整備・美化>

◎教具の作成及び修繕→古い物置の撤去、新物置の設置 (渡瀬地区体育後援会より)

◎長期休業、連休等の花壇の水やり支援→水やりボランティア

◎消防団によるプール清掃ボランティア

④安全・見守り

◎地域防災訓練を小学校と合同で→10月23日(土)学校公開日に実施。○わたらせ見守り隊

⑤地域学校協働活動

○公民館主催体験活動 ◎渡瀬交流会 ◎マナビィクラブ ○公民館利用事業

◎児童室 Wi-Fi 活用による児童受け入れ ◎物置小屋の設置 ◎カヌー体験

⑥学校の取組

○学力向上の取組

・ユニバーサルデザインを意識した授業づくり ・学習環境作りとしての hyperQU の活用

◎ICT 活用の授業 ・オンライン授業や授業のツールとして活用

◎持久走チャレンジ

・学習指導に則り、体育の授業としての持久走にする。保護者の参観なし。校庭を使う。

○クラブ活動

・金管クラブ、スポーツクラブ、八木節クラブの3つである課題から選択肢を広げるために、

→八木節を3回分別のクラブを選択 (パソコン・将棋・サイエンス)

九小児童に係わる公民館活動 (酒井公民館館長)

○わたらせ展覧会 (10月10日～11月27日)

・九小 (書写・短歌) ・夏休み習字作品教室 ・九小 (図工作品) ・PC教室

○わたらせ交流会 (11月7日)

・九小お米販売 ・体験イベント (空き缶釣り、ストラックアウト など)

○わたらせマナビィクラブ (渡瀬少年少女教室)

・「里沼を学ぼう! 花ハスクルーズ」 ・「ワークショップ 館林バトン」

・「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」 ・「地域の文化財巡り」 など

部会A

○地域で子どもを育てる活動が有り難い。父親の存在、活躍を見る機会がある。

○八木節クラブを教える地区の方がいない。八木節を教えられる人材を探す必要がある。

○育成会の活動については弱い面がある。どうしたらいいものか。薪に火を付けたり、飯ごうで米を炊くなど、子どもに経験させたい。

部会B

○米作り生産活動を充実させたい。稲刈りをもっとしたかったという児童の声もあった。

○一中との連携活動を充実させたい。合唱コンクール優勝クラスや一中吹奏楽部の招待などを継続的に図りたい。

○コロナ禍の関係で児童の活動に制限がかかっている。その影響で、子どもに不安や不満がたまっていないか、子どもの心が心配。